

やすらぎの家デイサービスセンター令和6年度第1回 運営推進会議 議事録

日時：令和6年 8月21日（水）

場所：やすらぎの家デイサービスセンター

参加者：

利用者代表	0名	出雲市高齢者福祉課	1名
利用者家族	1名	地域ボランティア	0名
やすらぎの家デイサービスセンター 第三者評価委員			1名
事業所スタッフ（施設長・生活相談員）			2名

議題

1. デイサービスの利用者の状況【資料 1】
2. デイサービスの行事・活動について【資料 2】
3. 令和5年度 ヒヤリハット・苦情相談報告【資料 3】
4. 出雲市内事業所の事故報告状況【出雲市高齢者福祉課より】
5. 意見交換

●利用状況について

【令和6年7月現在 利用登録者16名の状況】

性別	男性 3名	女性 13名			
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
分布	4名	8名	3名	1名	0名
利用頻度	週5日	週4日	週3日	週2日	週1日
	2名	1名	3名	7名	3名
平均年齢	81.25歳（昭和1ケタ6名、昭和10年代8名、昭和20年代2名） 72歳～97歳				
平均介護度	2.05				

●行事・活動について

実施状況

3月	火災避難訓練、ひなまつり会、調理、誕生会 おやつ作り（よもぎ餅、いも餅）、お彼岸ぼたもち作り
4月	花見（加茂段部、遥堪霊山寺公園、三刀屋、愛宕山）、旧ひな祭り（お抹茶会） 一畑薬師花まつり（外出・外食）、調理
5月	誕生会、調理、おやつ作り（フルーツケーキ）
6月	誕生会、調理
7月	七夕会、お楽しみ会、誕生会、調理
8月	納涼会、誕生会、調理

## 今後の行事予定

9月	火災避難訓練、長寿お楽しみ会、お彼岸おはぎ作り、誕生会、調理
10月	出雲大学駅伝観戦、阿須利神社お祭り、ハロウィン、芋ほり、調理

### ●令和5年度やすらぎの家でのヒヤリハット報告

#### 【やすらぎの家】

前の年、令和4年度のヒヤリハット件数が17件、令和5年度に25件と増加しているが、これは利用者の介護度が上がったことにより、転倒等のリスクがあったことによる。

介護度に関係なく、スタッフによる連絡ミスや給食でのミス、少し配慮して声をかけることで防げたことが多くあり、物事のもう一歩先を考えながら行動することで、スタッフ間で声を掛け合うことや、利用者への声掛けも違ってくると思われる。

#### 【第三者評価委員】

服薬ミスは毎年1～2件あり、その度に対策を考え取り組んでいても怒っている。命に関わることなので、いつかゼロを目指すよう、ダブルチェックを怠らず再発防止してほしい。

### ●出雲市内事業所の事故報告状況【出雲市高齢者福祉課】

現在令和5年度の集計中のため、令和4年度の事故報告集計資料で報告。

集計するとその年によって違いはあるが、この事故はヒューマンエラーなのか？用具等使い方が悪かったパターンなのか？ということも見ている。利用者本人ばかりでなく、入浴介助中にスタッフが足を滑らせ転倒、そのスタッフの手が利用者に当たりけがをした、というケースもあった。

- ・事故発生時間帯別の事故件数集計では、入所施設において、朝の起床や着替え、食事準備でスタッフが手薄な時間帯…6:00～6:59や、昼食後、昼寝起きの時間帯14:00～14:59に多くなっている。
- ・事故発生場所別では、居室での転倒が全体の50%以上を占めている。お風呂ではスタッフが1対1で関わっているためか？以外に件数が少ない。
- ・事故後の状況としては、半数が入院、入院と通院を合わせると全体の85%となり、事故案件はその後何ともないということが少ない。
- ・サービス種別事故報告件数では、認知症対応型共同生活介護が一番多く、これは令和3年度も同様の結果で、認知症がからむと本人の判断ができにくいことから、事故につながりやすいと言える。

#### 【やすらぎの家】

他の事業所では、転倒やリスクを防ぐために対策として何か取り組まれていることがあれば教えてほしい。

##### ➡【出雲市高齢者福祉課】

危険予知訓練の研修が行われているところもあった。どういうことが起こるか？知識を増やすことが良いかと思う。

##### ➡【やすらぎの家】

以前やすらぎの家でもスタッフ研修の中で、絵を見てどんな危険が予測されるかを考えることをした。定期的に色んな場面を想定した危険を予測する研修を行いたい。

### 【出雲市高齢者福祉課】

事故が起こった時は要介護1でも、転倒骨折により入院し治療が完了して退院する時には、これまで歩いていたのが車いすになっていたり、誤嚥性肺炎では口からの食事が難しくなったり、完治した時にもとの状態には戻れないことが多く、介護度を変更申請するということが多い。

## ●意見交換

### 【やすらぎの家】

送迎の時間帯には市内を福祉車両が多く、駐車スペースがない家では道路端に止めておられるのをよく見かけるが、市の方へそういった苦情は寄せられることがあるのか？

やすらぎの家の利用者は認知症により迎えの時間に準備ができず、少しお話してからでないと出発できないことも多く、いつも時間がかかるため、遠くても交通の妨げにならないような場所に駐車しないと迷惑がかかる。

#### ➡【出雲市高齢者福祉課】

市の方へはそういった苦情は上がっていない。昔に比べると、地域の理解も増えていると思う。

### 【第三者評価委員】

以前、狭い坂道の先にある家への送迎で、リフト車が止まると、他の車両が通れない家があり、その家の家族へはすぐに出かけられるように準備を依頼することがあった。周りの人は施設にではなく、同居家族に対して厳しい面がある。送迎が難しい人、時間がかかる人は最後にするというのも良いと思う。

### 【第三者評価委員】

独居の人がおられるが、何かあった時に家の中に入れるようになっているのか心配。

#### ➡【やすらぎの家】

独居二名のうち一人は、家族の意向でデイサービスにカギを預けられこちらが管理しているので、外から入られる。もう一人はカギを自己管理で、訪問看護や訪問リハビリが入っている。担当者会議でも、何かあった時に家に入る手段としてカギをどこかが管理しては？医療的な処置が必要となるので訪看にお願いするのがよい、ということで話し合った。

#### ➡【第三者評価委員】

独居の場合、ヘルパーやケアマネなど万が一の時のカギを共有できる方が安心。いつもと違う返答がないような時は、一人ではなく数人で訪問、いつも家の中に入りサービスする訪看やヘルパーが行くことが望ましいと思う。

### 【やすらぎの家】

市の事故報告の集計のように、やすらぎの家でも時間帯をグラフ化することで、防止策につながると思う。入所施設で起こることが、デイや自宅でも考えられるため、デイでは昼寝起きの時間、ぼんやりし『ここはどこかな？』と不安な時間帯、またそういった時間帯に記録で現場を離れるスタッフありで、手薄な時間でもあり、気を付けていきたい。自宅では朝の時間帯、昼寝起きに同じようなことが考えられるため、参考にしてもらおうと良いかと思う。

#### ➡【家族】

うちでも寝起きはぼんやりしているので、気を付けたいと思う。  
今日は、初めてデイで過ごしている母を見て、こんなに穏やかにみなさんと過ごしていることに驚いた。自宅での不安な顔と全然違い、安心して過ごせていることがわかり、来てよかった。

#### 【やすらぎの家】

前年度よりヒヤリハット報告の用紙に、その後どうなったのか？を記録するようになり、一か月後には必ずもう一度確認するようになったことで、再発防止につながっている。今後も細かなことにも注意を払い、先を予測する力を身につけ、事故防止につながるようにしたい。